

指定国立大学

Designated National University

東北大学の新たな未来

東北大学、東京大学、京都大学の3大学は、2017年6月に文部科学大臣から指定国立大学法人に指定されました。

指定国立大学は世界最高水準での教育研究活動が見込まれており、日本に限らず、国際社会や経済の発展に大きく貢献することが期待されています。

この度の指定はその推進役としての戦略性と実効性を提示した上、定めた目標を達成しうる大学として認められたことを意味します。



創造と変革を先導する大学

指定国立大学としての東北大学

東北大学は指定国立大学として今まで以上に教育の国際化・多様化を推進し、社会的課題を解決する学際的研究を実践するとともに先進的な組織改革を行って世界の有力大学と伍していきます。

新たに展開する「東北大学高等大学院」や「高等研究機構」を頂点とした「研究イノベーションシステム」等を通じて、既に国際通用性の高い教育研究プログラムを更に深化し、戦略的産学共創による研究成果の実装を加速して社会貢献に努めます。

世界を舞台に活躍する次世代のリーダー的人材を育成するとともに常に世界から目標にされる世界三十傑大学を目指していきます。

Education 人材育成

すべての大学院教育プログラムを学位プログラムへ進化させ、その管轄組織として「東北大学高等大学院」を創設。学際・国際・産学共創を理念とした、現代社会のニーズに対応する機動的な学位プログラム群を展開していきます。



「国際共同大学院プログラム」において学生にとって魅力ある教育を実践することにより、本学の国際的プレゼンスを向上させ、優秀な留学生を世界から獲得していきます。

東北大学基金を利用した博士課程学生への給付型奨学金を創設するなど、学生に対する本学独自の経済的支援制度を拡充します。

Research Activities 研究力強化

戦略的な研究拠点形成を加速させるため、総合大学としての研究を基盤とした三階層からなる「研究イノベーションシステム」を構築し、「材料科学」、「スピントロニクス」、「未来型医療」、「災害科学」などの世界トップレベル研究拠点を形成していきます。

国際的プレゼンスを向上させる9領域の「国際研究クラスター」を形成。海外有力大学との連携をもとに厚みのある教育研究活動を戦略的に展開していきます。



Governance Reform 大学経営革新

指定国立大学としての重点施策を加速的に推進するため、東北大学版プロボストを創設。総長補佐体制を強化します。

ミッション・機能ごとに既存組織をグループ化する「全学機構改革」を行い、総長によるリーダーシップ強化のための体制を構築します。

寄付金収入や戦略的な産学連携による民間共同研究費の拡大により自己収入を強化し、総長裁量経費を拡大させ、重点施策の推進を加速させていきます。

併用可能スペース・クリーンルームなどの利用を一元管理・企画する「アセットマネジメントセンター」を創設し、産学連携を推進させるとともに、資産運用収入による財政基盤の強化を行います。

Being Part of the Community 社会との連携

総合大学としての強みを生かし、様々な分野のアンダーワンルーフ型産学共創拠点を構築。特に青葉山新キャンパスでは課題解決型研究を、星陵キャンパスではライフサイエンスにおける産学共創を推進させていきます。

日本人と留学生が共同で生活する国際混住型学生寄宿舎を増設し、国際感覚と協調性、社交性を持つ人材育成を推進させていきます。

